豊橋技術科学大学　開学35周年記念企画

安全安心な社会を創造する建設技術者像

― 技科大教育の30年、これまでとこれからを考える ―

日時

2012年9月29日（土）
13:00～17:00
（12:30より受付開始）

会場

ホテルアソシア豊橋
5階　ザ ボールルーム

開学35周年記念企画シンポジウムの開催にあたって

本学は昨年秋に創立35周年を迎えました。この間、大学全体としての10年ごとの記念行事に加え、建築・都市システム学系（旧建設工学系）独自の企画として、25周年記念の同窓会を開催してきました。しかしながら、25周年シンポジウムからすでに10年が過ぎ、社会情勢や建設業界の置かれた状況は大きく変わってきております。そこで、35周年記念の企画として、技科大教育のこれまでを振り返り、これからの社会に求められる建設技術者像を討論しながら、技科大教育のあり方を考えるシンポジウムを企画いたしました。多くの卒業生の皆様のご出席を心よりお待ちしております。

建築・都市システム学系　系長　松本博

主催
豊橋技術科学大学　建築・都市システム学系
豊橋技術科学大学　建設工学同窓会
豊橋技術科学大学　高専連携室

共催
豊橋技術科学大学　安全安心地域共創リサーチセンター（CARM）

お問い合わせ先
〒441-8580
愛知県豊橋市雲雀ヶ丘1-1
豊橋技術科学大学　CARM事務室内
シンポジウム実行委員会　担当　岡辺
TEL：0532-44-1320

豊橋技術科学大学　開学35周年記念企画

安全安心な社会を創造する建設技術者像

【開催趣旨】東日本大震災から1年を経て、まちづくりや防災といった復興計画では地域の将来像に対する議論が活発になっています。建築・社会インフラはこれまで以上に安全安心な生活を支える役割を求められると同時に、それを担う技術者は意識やスキルの変化を求められています。そのような社会に卒業生を送り出す技科大にとって、これからの技術者教育はどうあるべきなのでしょうか。高専から連続した教育、建築と土木の融合学科といった技科大独自の教育システムが建設の現場でどう役立ったか、また、今後必要とされる技術者像を卒業生の体験から語っていただき、これからの技科大の建設教育について現役学生とともに考えます。

プログラム

総合司会　小野全子

開会挨拶　系長　松本博
OB代表挨拶　正田要一
主旨説明　大貝彰

第1部　13:20～15:00
OBの技科大体験と求める建設技術者像

コーディネーター：加藤茂
話題提供　各分野10分程度
柳田耕治（梓設計）
合樂将三（鹿島建設）
東田豊彦（積水ハウス）
筒井康史（三菱UFJリサーチ&コンサルティング）
舟橋香　（国土交通省中部地方整備局）
種市里美（中央設備エンジニアリング）
質疑　14:20～15:00

コーヒーブレイク　15:00～15:40

第2部　15:40～16:50
これからの技科大建設教育を考える

現在の教育カリキュラム紹介　15:40～16:00
井上隆信
アンケート結果紹介　16:00～16:10
浅野純一郎

パネルディスカッション　16:10～16:50
コーディネーター：大貝彰

閉会挨拶　系長補佐　井上隆信

会場のご案内

ホテルアソシア豊橋
（豊橋市花田町西宿，tel; 0532-57-1010）

○電車をご利用の方
JR豊橋駅よりコンコースと直結しています。
○お車をご利用の方
豊橋駅周辺の有料駐車場をご利用ください。

交流会のご案内

シンポジウム終了後の17時半より、同会場にて交流会を開催いたします。卒業生の皆様と在学生、教員に加え、ご退官された先生方にも来ていただく予定ですので、多くの皆様のご出席をお待ちしております。

会場　ホテルアソシア豊橋　5階　ザ パティオ
会費　¥3,500
（当日会場にて集金させて頂きます）
時間　17:30～19:30

折角の機会ですので、交流会終了後に各研究室OB会などを企画されてはいかがでしょうか。